

## Oak and Orca Bioregenal School

(エコに熱心に取り組んでいる私立学校内保育園)

レポート：増澤美和

### ★その名もホワイトハウス

エコに力を入れている Oak and Orca Bioregenal School は、閑静な住宅街の一角に木に覆われるように建てられています。1 件家をリフォームし白く塗られた外観と木の風合いは、ここだけ別荘地を思わせます。

ホワイトハウスと呼ばれるこの建物には 3 歳～5 歳の園児が通い、近くのグリーンビルディングには 5 歳～17 歳の生徒が通学しています。生徒は全部で 37 人、先生は 12 人です。

### ★この学校の特徴

ここを取り仕切る先生の元気な事！雨の日の訪問でしたが、それを感じさせないエネルギッシュさに終始圧倒されっぱなしの視察となりました。

この学校の特徴は、学年制度と成績表がないこと。独自の教育方針の中でも特に興味を引くのは、環境について学ぶ事に重点を置いている点です。

### ★目標

幼年時より上手く自然と共存する方法を学び、ビクトリアの自然環境を大切に守り育てていく事を理解し、実行する事を目標としているようです。

そのため、学校のエコへの取り組みは様々な所で見かけます



### ★さまざまな工夫

例えば、紙は両面使用してからリサイクルボックスへ、お手洗いには手をふく紙はなくタオルを持参します。

学外へのフィールドトリップではエコの観点からバスを利用し、先生の通勤もバスか自転車と徹底しています。

コンポストの導入で、肥料を作り野菜やお花を育て、出来たものを保護者に配布し、スナックタイムでも食べるそうです。何より子ども達自身がリサイクルについて、自然に取り組んでいる事に驚きます。



### ★子どもたち気づく学び

環境について学ぶ場合、住んでいる土地の石を持ってきてその地について学び、環境が自分に合わせるのではなく、自分が環境に合わせる事も同時に学びます。

子ども達は外で多くの大切な事を学びます。水が汚れた時に綺麗な水について学んでいけば自然とその原因が何なのかを考えられる、そういった気づきをここでは学び、一方的に教えるのではなく気付かせると言った教え方が印象的でした。

### ★教育に対する姿勢と柔軟な対応

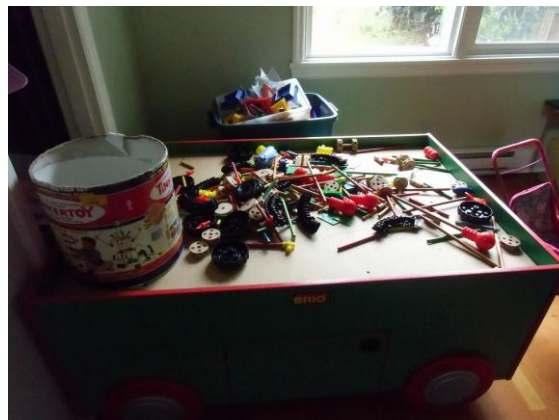
障害を抱えた子どもたちの学習では、通学が厳しい場合、ホームスクリーニングを利用して先生が自宅に教えに行くなど、日本で言う家庭教師のようなスタイルを学校で行っている事に、ビクトリアの教育に対する姿勢、柔軟な対応に感銘を受けました。

### ★ユニークな教育

普段、午前中のオープンクラスでは生徒が自分のやりたい事を基本的に遊びながら学び、午後のワークショップでは先生と一緒に1つのトピックを勉強する2つのスタイルを選ぶ事も出来ます。数学だけは経験値が大切なため必須です。

授業は国語、算数、理科、社会、図工、美術があり、美術の時間ではダンスやドラマの時間があります。

日本ではあまり身近ではないドラマの授業では、3歳～17歳までが参加し、大きい子は台本作りに始まり配役、衣装も担当し、グループの皆で作り上げシェアする楽しさ、大切さを学びます。発表会



では家族も見学しシェアする喜びを一緒に分かち合います。

### ★好奇心に満ちた子ども達の顔

学年制度を用いないこの学校で教える先生たちは、教科ごとではなく、全部の教科を教えるため資格よりも経験や能力を求められます。

カードや絵本など様々な教材を用い、子ども達の興味を引き出しながら自然と学ぶ環境へシフトしているように見えます。雨でも外で元気よく遊び、園内では木のぬくもりある室内で、のびのびと自分の好きなことを学べる、好奇心に満ちた子ども達の顔が印象的でした。

